

PacketiX VPN Server 2.0 SOHO Edition

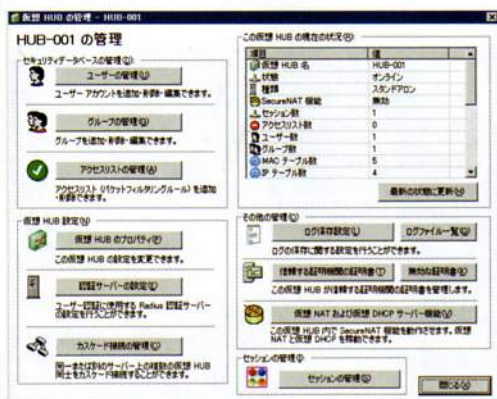
AP
試用レポート
SOFT

お手軽VPNソフトが ついに発売

筑波大学に在学中の登大遊さんが開発している「PacketiX VPN」は、手軽にVPNを構築できるネットワーク用ソフトだ。ベータテストを終え昨年末に市販された。どんなことができるのだろう。(文・中村雄一郎)

■ソフトイーサVPN

直販価格 1万9950円
対応OS ウィンドウズ2000/XP、Linux、MacOS X
問い合わせ先 03-5215-8444
http://www.softether.com/jp/

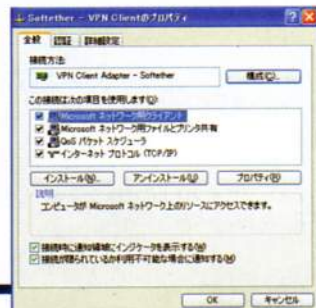


① 仮想ハブ。PacketiX VPN Server 2.0をインストールすると、パソコン同士を接続する「ハブ」役として使えるようになる。

④ 接続する仮想ハブごとにそれぞれ別の仮想LANカードを作成する。どの仮想ハブに接続するかは、「PacketiX VPNクライアント接続マネージャ」というプログラムで選ぶ。



② ローカルブリッジ機能を使うと、パソコンが所属している本物のLANと、仮想ハブで実現されているPacketiX VPNの2つのLANが1つのLANとして扱えるようになる。それぞれのLANに接続したパソコンは、同じLAN内のパソコン同士としてデータをやりとりできるようになる。



③ 仮想LANカード。PacketiX VPN Client 2.0をインストールすると、パソコンに仮想ハブに接続するための仮想LANカードが作れる。

⑤ PacketiX VPNのサーバー機能を、どのTCPポートで動作させるかは、PacketiX VPNサーバー管理マネージャの「リスナーの管理」で設定できる。

PacketiX VPN Server 2.0 (以下、PacketiX) は、「ソフトイーサ」の名称で有名になったネットワーク用ソフトの最新版だ。インターネット経由で利用できる「VPN」を、接続環境にかかわらず簡単に構築できる。

VPN (Virtual Private Network) とは、「仮想専用網」とも呼ばれるネットワーク技術のこと。インターネットのような誰でも利用できるネットワークを使いながらも、関係者だけが利用できるネットワークを作る技術のことである。

PacketiXを使うと、勤務先から自宅のパソコンに接続して、持ってくるのを忘れたファイルを取り出したり、出張先から勤務先のパソコンに接続して社内掲示板を読んだりできる。ユーザー名とパスワードで、誰が接続できるのかを管理できるので、第三者にパソコンにアクセスされて情報を盗まれたりする心配をしなくて済むのが長所だ。いくつかのライセンス形態があるが、「SOHO Edition」は、3台までのパソコンを同時に利用できる。

仮想ハブに接続することでVPNを構築

有線のLANの場合を考えてみよう。複数のパソコンを接続するには、それぞれのパソコンのLAN端子からハブに接続する。同じハブに接続したパソコン同士が通信できるわけだ。

PacketiXでは、ハブとLANカードをソフトウェア的に作り出し、VPNを構築する。仮想ハブを作り出すソフトが「PacketiX VPN Server」、仮想LANカードを作り出すソフトが「PacketiX VPN Client」だ。どのように使いたいかによって、別々にセットアップする必要がある。たとえば出先から、自宅のパソコンに接続できるようにしたければ、まず自宅のデスクトップ・パソコンにPacketiX VPN Serverをインストールして仮想ハブを作る(①②)。

一方、持ち運ぶノートパソコンにはPacketiX VPN Clientをインストールして仮想LANカードを作る(③)。仮想LANカードの接続先に、自宅の仮想ハブを指

定すれば、あたかも物理的に存在するハブに接続したようにデータのやりとりが可能になる(④)。ノートパソコンのファイルを、デスクトップにコピーしたり、デスクトップで受信したテレビ映像をノートパソコンで再生したりできる。インターネット経由でも、同じLAN内に接続しているときと同じように使えるのだ。さらに、友人に仮想ハブに接続するためのユーザー名やパスワードを教えれば、直接にはつながっていない友人のパソコンと勤務先のノートパソコンでもデータをやりとりできるようになる。

アイデアしだいでいろいろな使い方ができるソフトだが、それなりに通信の仕組みを知らなければ設定は難しいだろう(⑤)。なお、暗号化などのため通信速度は低下してしまう。付属の「通信スループット測定ツール」で通信速度を計測したところ、PacketiX VPNを使わなければ約55Mbpsの帯域幅の光ファイバー回線同士でも30Mbps程度しか出なかった。ADSLなどの低帯域の回線では、テレビ番組の視聴などは難しいだろう。